

平成23年度第1回瀬谷区地域福祉保健計画地区別計画推進懇談会	
日時	平成23年6月13日(月)午後2時～4時
場所	区役所1階会議室
出席者	地区代表者 34名、ケアプラザ 10名、区社協 4名 地区支援チームリーダー11名、メンバー 1名 地域力推進 2名、事務局 7名 計 69名
議題	<p>1 開会 あいさつ</p> <p>2 第2期 瀬谷区地域福祉保健計画について</p> <p>3 情報交換 コーディネーター 田中 孝司氏(株式会社 地域環境計画)</p> <p><グループワークの導入> 今回のグループワークは、結論を出す会議ではなく、情報交換が目的であること。 3月の大震災を受けて、地域の災害時などの見守りについても話し合っ て欲しいことを伝える。</p> <p><グループワークの方法></p> <p>① 12地区に分かれて自己紹介、2期計画の目標を確認、イチオン計画に ついて話し合い模造紙に記入していく</p> <p>② 進行役の人を残して、グループメンバーをシャッフルして、情報交換を 行う。(20分×3回)</p> <p><グループワーク 意見や課題></p> <p>見守りや災害関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内会ごとに違いがあり。地区として同じように見守りなどを行うた めに、各町内会でこまめに話し合いを行っている。 ・ 一人暮らし高齢者に防災グッズを配り、中身の確認を理由に定期的に訪 問している。予算の確保が課題である。 ・ ささえあいカード、なかなか進まない。プライバシーを心配する人が多 い。 ・ 災害対策は、手ごたえのある仕組みができていない。 ・ 災害対策→見守り、連絡・体制の整備 ・ 防災グッズの配布を検討しているが、対象をどうするか? ・ 町内会で高齢者の見守り ・ 見守りを希望しない人へのアプローチをどうするか? ・ 新しい形のコミュニティ拠点づくり→見守りの拠点となる場所づくり

- ・ 防災訓練は、かわら版による周知徹底を図り、GH（グループホーム）と一緒に訓練している。
- ・ 地域で見守りが出来る体制づくり
- ・ 災害時は、民生委員だけではダメ、自治会レベルで！
- ・ 災害時の見守り→イザという時の近隣の支えをどうしていくか？
見守りネットワークの体制づくり（小さい単位でお互いが見守りあう）
- ・ 地域の活動にでない人へのアプローチをどうするか？

人材に関すること

- ・ 若い担い手がいないのが課題
- ・ ボランティアを募集するが、なかなか集まらない
- ・ 団塊の世代が入ってこないのは、なぜ？

70歳くらいまでは働きたい。それから入っては、地域に溶け込めない。この世代向けに、地域活動参加へのアプローチ、趣味・生きがいからの発展

- ・ 担い手は、どこも同じような人達（同じ役員が何役もやっている）
- ・ サロンの担い手をどうするか

拠点に関すること

- ・ 拠点づくりが課題
- ・ 高齢者、要支援者の支援拠点づくりが課題

その他

- ・ サロンやイベントに来る人は、同じ人が多い→色々な人を巻き込みたい
- ・ 送迎をどうするか？規模を拡大するか？
- ・ 地域に多くのサロンがあるが、場所により数の偏りあり
- ・ ケアプラザの障害支援事業をきっかけに地区でも支援事業をやりたいニーズがあるのか？
- ・ ニーズの把握（アンケート等）が必要

4 その他（情報提供等）

- (1) 気づきのキャッチ・見守りのリレー事業 全体研修について
平成 23 年 9 月 6 日（火）開催予定
- (2) 地域福祉保健計画推進シンポジウムについて
平成 23 年 11 月 26 日（土）開催予定
- (3) 第 2 回 地区別計画推進懇談会について
平成 24 年 1 月頃開催予定
- (4) せや活動ホーム 太陽の焼き菓子について
サンプル配布。地域の会合でもご利用していただきたい。

